



〈あおぎん〉のいまがよくわかる

AOGIN NOW

2021年9月期
ミニディスクロージャー誌
第114期中間 営業のご報告
(2021年4月1日~2021年9月30日)

未来からの、ありがとうのために。

 青森銀行



企業理念

地域の
ために
お客さまと
ともに
人を大切に

私たちは、「公共的使命」を尊重し、豊かな地域社会の創造に貢献する、健全かつ強い銀行を創ります。

私たちは、「お客さま大事」を尊重し、誠意と英知を育み、真摯かつ魅力あふれる銀行を創ります。

私たちは、「自主性」を尊重し、自信と誇りに満ちた、進取かつ明朗な銀行を創ります。

プロフィール (2021年9月30日現在)

- 創業 / 1879年(明治12年)
1月20日第五十九国立銀行
- 創立 / 1943年(昭和18年)
10月1日青森銀行
- 本店所在地 / 青森市橋本一丁目9番30号
- 資本金 / 195億円
- 営業店舗数 / 本支店・出張所88カ店
- 従業員数 / 1,258名
- 総預金 / 2兆9,446億円
- 貸出金 / 1兆8,653億円

Contents

ごあいさつ	1
第16次中期経営計画	2
あおぎんのCSR	3~7
県内シェア・貸出資産の状況	8
業績ハイライト	9~10
単体財務諸表	11
連結財務諸表	12
株主優待制度	13
株式情報	14

ごあいさつ



2021年12月

頭取 成田 晋

皆さまには日頃より格別なお引き立てを賜り、まことにありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症や8月発生の豪雨災害により影響を受けておられる皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

「2021年9月期ミニディスクロージャー誌 あおぎんNOW」をお届けいたします。どうかご一読いただき、当行への理解を一層深めていただければ幸いです。

2021年度の国内および青森県経済は、全体的には緩やかな持ち直しの中ではあるものの、東京オリンピック・パラリンピック開催と時期が重なった緊急事態宣言発令等による個人消費の抑制等、依然として新型コロナウイルスの感染状況に左右される状況にあります。

こうした中、私ども青森銀行グループは地域における経済と雇用の維持を最優先課題と捉え、お客さまの資金繰り支援や本業支援に迅速かつ柔軟に取り組んでおります。

当行は、創業以来140年余にわたり、地域とお客さまとともに歩みを進めてまいりました。その間、時代の移り変わりとともに、サービス提供の在り方も常に変化してまいりました。

一方で、これまでもそしてこれからも、私どもにとって決して変わらないものは「地域のために お客さまとともに 人を大切に」という企業理念に込められた創業の精神、変わることはない地域やお客さまへの想いです。この想いを最適形で具現化し、これからますます激しさを増していく経済・社会環境の変化の中にあってもステークホルダーの皆さまと共通価値を創造し続けるために、組織も個々の従業員も自らを変革し続けなければなりません。

今、私どもはかつて経験したことのない大変革に取り組もうとしております。新しいグループの強みを最大限に活かしながら、金融機能の強化のみならず事業領域の拡大に強力に取り組むことで、環境変化に揺らぐことなく地域・お客さまの成長・発展に貢献できる、金融の枠組みに捉われない「コンサルティングファーム」を標榜してまいります。

未来からの、ありがとうのために。

今後とも変わらぬご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



第16次中期経営計画 ～Change the Future～

地域・お客さま・銀行・職員の未来を本気で変える3年間

地域・お客さま

まずはあおぎん
さすがあおぎん
という信認

銀行

従来の銀行の枠を超えた
コンサルティング・グループへ

職員

いきいきとワクワクと
活力ある働き方

【計画期間】2019年4月～2022年3月

目指す姿

地域・お客さまとともに、豊かで幸せな未来を創る
Only One Consulting Bank

基本戦略

I. 地域・お客さま本位でのコンサルティングの実践

II. 人材力・組織力の向上

III. 業務改革の断行

経営目標

単体当期純利益
30億円以上
(計画期間中)

連結当期純利益
32億円以上
(計画期間中)

非金利収益比率
15%以上
(2021年度)

連結ROE
3%以上
(2021年度)
※中長期的に5%以上

県内コンサルティング
取組先増加数
+1,500先以上
(計画期間中累計)

1. 非金利収益比率 = (コア業務粗利益 - 資金利益) ÷ コア業務粗利益 ※単体ベース
2. ROE = 当期純利益 ÷ 株主資本
3. 県内コンサルティング取組先増加数は「2018年度末対比での県内与信先純増数」と「県内非与信先で計画期間中に当行(グループを含む)とソリューション契約に至った先数」の合計

あおぎんのCSR

未来の創造

あおぎんCSRレポートは下記URLよりご覧いただけます。(当行HP → 青森銀行について → CSRへの取り組み)
<https://www.a-bank.jp/contents/guide/aboutabank/csr/report/index.html>

私たち(あおぎん)は、「ふるさと青森県の持続的な発展を願い、ともに成長していく」という想いを、創業以来変わらず持ち続けています。

これからも私たちは未来に向け、環境・社会・経済など地域の社会的課題に向き合いながら、ステークホルダーの皆さまとの共通価値を持続的に創造し、ともに成長していけるよう企業活動に取り組んでいきます。

◆〈あおぎんCSR〉活動方針

私たちは、〈あおぎんCSR〉活動方針の下、ステークホルダーの皆さまとの「共通価値の創造」を目指しています。

〈あおぎんCSR〉活動方針

- 【活動方針1】 豊かなふるさとを未来へ
- 【活動方針2】 持続的な地域発展への貢献
- 【活動方針3】 皆さまの“あした”をサポート
- 【活動方針4】 働きがいのある職場づくり
- 【活動方針5】 “企業価値”の向上



◆ ESG・SDGsへの対応方針

(1)環境・社会・ガバナンス(いわゆるESG)を巡る社会的課題への取り組み、ならびに社会的要請であるSDGsへの対応に関しては、重要課題と認識しており、共通価値の創造を目指す当行の企業活動(CSR活動)を通じて積極的に推進していきます。

(2)当行のESG情報は、「CSRレポート」(web)で発信しますが、「社会の持続可能性を語るうえで万国共通の言語」であるSDGsを活用した情報発信を行っていきます。



活動方針 1

豊かなふるさとを未来へ



ホタテ貝殻を有効活用した路面標示用塗料の導入

ホタテの貝殻をリサイクルした塗料「シェルマーカー^(※)」を導入しています。八重田支店、小湊支店、佃支店に続き、2021年5月には松原通り支店(青森市)と浜館支店(青森市)の駐車場の白線表示をシェルマーカーで施工しました。

ホタテ産業は青森県における重要産業の一つですが、加工後に大量に排出される貝殻等の処理は、環境保全および処理費用の面から地域の課題となっています。ホタテの貝殻をリサイクルして配合したシェルマーカーは、既存製品と同等の性能を維持しつつ、産業廃棄物の削減と自然環境保護に寄与するエコ商品です。

(※)シェルマーカー

2016年10月、青森県の「レッツBuyあおもり新商品」に認定。
製造元:大管工業(株)(青森市)



松原通り支店での施工(2021年5月)

活動方針 1

豊かなふるさとを未来へ

森林認証を受けた「環境にやさしい」用紙の使用とビニール製手さげ袋の廃止

株主優待制度「あおぎん悠悠倶楽部^(※1)」の『株主優待品カタログ』『定時株主総会招集ご通知』『ミニディスクロージャー誌』や紙資源リサイクル業務に使用している段ボール箱に森林認証^(※2)を受けた用紙を使用することで、違法伐採や環境破壊を抑止し、森林保全や林業を間接的に支援することに貢献しています。

また、2021年4月からSDGsの達成に向けた取り組みとしてプラスチックごみの削減に貢献するため、店頭等で配布しているビニール製手さげ袋を廃止し、森林認証を受けた用紙を使用した環境に優しい手さげ袋を準備しました。

(※1)株主優待制度「あおぎん悠悠倶楽部」

1997年7月、株主の皆さまへの感謝の気持ちをお伝えするために創設。

1年以上継続保有している株主を対象とし、毎年3月31日現在の所有株数に応じて、青森県の特産品をプレゼントする制度。

(※2)森林認証

持続可能な森林経営が行われている森林を第三者機関が認証する制度。



活動方針 2

持続的な地域発展への貢献

フードボックスの設置

2021年9月、一般社団法人みらいねっと弘前様の「フードバンク事業」に賛同し、弘前支店兼土手町支店に「フードボックス」を設置し、セレモニーを行いました。

一般社団法人みらいねっと弘前様が実施している「フードバンク事業」の一環である「フードボックス」の設置は、家庭などで余った食料品を市民から募り、子ども食堂や食事を必要としている方や福祉施設などに寄付する活動です。



活動方針 2 持続的な地域発展への貢献



あおぎんSDGs私募債

「あおぎんSDGs私募債『未来の創造』」を取扱いしています。本商品は、同私募債を発行した際、発行額の0.2%相当額を当行が拋出し、発行企業の希望する学校や児童福祉施設、自治体等への物品寄贈等を通じてSDGsで定める17ゴールに貢献する内容となっています。

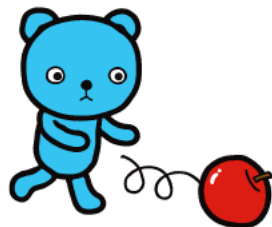
2020年10月からは「あおぎんSDGs私募債『医療従事者応援』」の取扱いを開始しました。本商品は、発行額の0.2%相当額を当行が拋出し、公益社団法人青森県医師会への寄付を通じて新型コロナウイルス感染症拡大の中、最前線に対応にあっている医療従事者の方々に応援する内容となっています。

また、2021年8月より「あおぎんSDGs私募債『縄文のキセキ』(寄贈オプション付私募債)」の取扱いを開始しました。本商品は、発行額の0.1%相当額を当行が拋出し、縄文遺跡群の普及啓発・承継活動を行う団体への寄付を通じて、文化振興に貢献する内容となっています。



むつ市「令和3年台風第9号災害ボランティア活動」に参加

2021年8月、むつ市内で「令和3年台風第9号災害 ボランティア活動」を行い、むつ支店、大湊支店の従業員15名が参加しました。崩落した小赤川橋周辺を担当し、被災した高齢者世帯の家屋内外の泥だしや家具・家電・生活用品の搬出、室内の清掃や廃棄物の分別処理・運搬等の支援をしました。



活動方針 3 皆さまの“あした”をサポート

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う対応

お客さまおよび従業員の健康・安全を最優先に新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組むとともに、相談窓口を設置し、事業資金のご支援や経営改善に向けたコンサルティングなど、金融サービスの迅速な提供に努めています。

「新型コロナウイルス感染症に関する経営相談窓口」・・・72支店(70拠点)(2021年9月30日現在)

※個人のお客さまのローン返済等に関するご相談についても、各店にて受付しています。

「あおもりで食を彩る商談会」と「あおもり収穫祭～Harvest March～」の開催

2021年7月、新型コロナウイルス感染症の拡大により食品関連事業者の販路開拓機会が失われている状況を踏まえ、当行本店(青森市)にて「あおもりで食を彩る商談会」を開催し、農畜水産物・食料品などを取り扱うお取引先と、アンテナショップやECサイトを運営する首都圏バイヤー企業とのオンライン商談を行いました。

また2021年9月には、(株)アグリーンハート様とともに同社の直営店「DAITADESICAフロム青森」(東京都世田谷区)にて「あおもり収穫祭～Harvest March～」を開催し、同商談会に参加した事業者の多くの商品を販売しました。

引き続き、多様化するお客さまのビジネスニーズに応えるため、地域事業者の販路拡大支援に取り組んでいきます。



SDGs浸透企画『2030年からの、ありがとうのために。』を配信中

2021年1月より、青森県内におけるSDGsの理解・浸透および意識向上の促進を目的として、YouTube公式チャンネルにて『2030年からの、ありがとうのために。』を配信しています。

本動画は、ご当地VTuber「青森りんこ(※)」とのコラボ企画で、SDGsの世界的なゴール(目標)を青森県版にローカライズし、「青森県にとってのSDGsとは何か」という視点で身近にある地域の課題などを分かりやすく解説したものです。

動画の制作にあたっては、青森県およびSDGsに取り組んでいる青森県内の大学・学校や団体等のご協力をいただいています。

(※)青森りんこ

2019年より活動を開始した、バーチャルYouTuber。「青森を元気に!」をモットーに、ホームページやTwitter、YouTubeなどで青森の魅力を発信している。



活動方針 4 働きがいのある職場づくり

「経営陣との意見交換会」の開催

当行の経営方針や営業戦略を経営陣自ら現場に伝え、営業現場の声を経営に活かすための話し合いの場として、「経営陣との意見交換会」を、2007年より毎年実施しています。2020年度は全営業店を対象に48会場で開催され、約900名の従業員が参加しました。今後も、経営陣と現場の従業員との忌憚のない対話を通じ、行内間の良好なリレーションづくりに取り組んでいきます。



障がい者を対象とした職場見学会の実施

2021年7月、「障がい者とその支援者を対象とした職場見学会」を実施し、3日間で42名の方にご参加いただきました。銀行の施設見学のほか、採用情報や職場実習の受け入れに関する説明と質疑応答を行い、参加した方々に青森銀行で実際に働く姿をイメージしていただきました。

今後も職場実習の受け入れやトライアル雇用を継続し、障がい者雇用の促進に取り組んでいきます。



活動方針 5 “企業価値”の向上

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止対策

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止（以下、マネロン等防止）対策は、当行において重要な経営課題の一つであり、行内態勢整備等の対策強化を図る必要があると考えています。このような認識の下、当行ではマネロン等防止に係る対策として、「犯罪による収益の移転防止に関する法律」や「外国為替及び外国貿易法」等に基づき、内部管理態勢の強化に取り組んでいます。

マネロン等防止に係る当行の方針は「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止方針」により明確化しており、「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止管理規程」によりマネロン等防止に必要な対応事項や管理体制を定めています。また、実効性を強化するため、「マネー・ローンダリング等防止に係る店内研修会」を定期的に開催し、振込や口座開設等の日常業務におけるマネロン等防止対策への習熟度の向上に取り組んでいます。

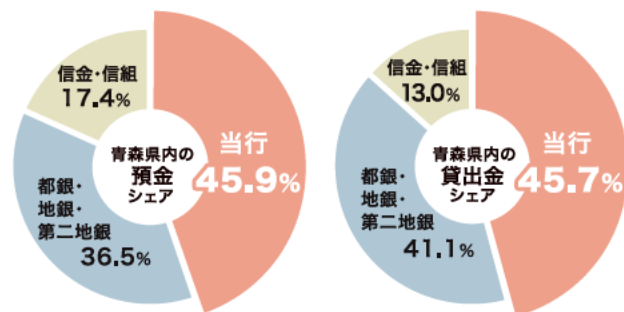
当行は、金融庁が公表した「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」等に基づきマネロン等防止への取り組みを強化し、犯罪組織やテロ組織への資金流入を防ぎ、安全で利便性が高い金融サービスを提供していきます。



県内シェア・貸出資産の状況

預金・貸出金の県内シェア (2021年9月30日現在)

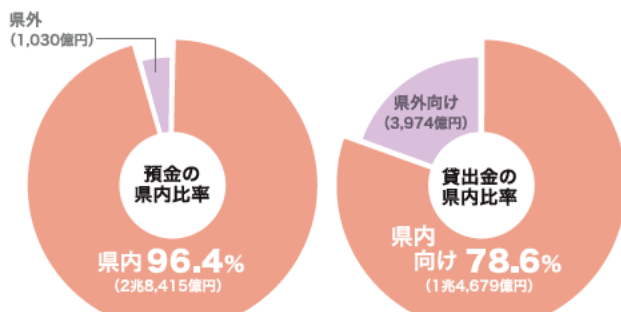
お客さまの高い支持により、青森県県内において、預金・貸出金ともトップシェアを保持しています。創業より140余年にわたって皆さまから信頼され続けた結果であり、引き続き「信頼される銀行」を目指していきます。



※ゆうちょ銀、労金、農協、政府系金融機関を除く

預金・貸出金の県内比率 (2021年9月30日現在)

当行預金の県内比率は96.4%であり、大半は地元青森県内のお客さまからお預かりしたものです。一方、貸出金の県内比率は78.6%となっています。

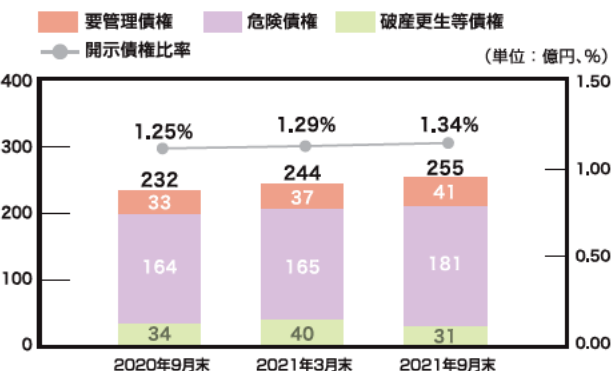


総預金残高 2兆9,446億円

貸出金残高 1兆8,653億円

金融再生法開示債権 (2021年9月30日現在)

当中間期末の金融再生法開示債権は、危険債権の増加等により前期末比11億円増加の255億円となりました。また、与信総額に占める開示債権の比率は前期末比0.05%上昇し1.34%となりました。



※記載金額は表示している単位未満を切り捨てています。また、構成比率、増減率、その他の比率は、表示している数値未満を切り捨てています。

金融再生法開示債権の保全状況 (2021年9月30日現在)

正常債権を除く開示債権額のうち74.5%は、引当金や担保等によって保全されています。

(単位：億円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	31	31	100.0
危険債権	181	148	81.4
要管理債権	41	10	24.9
合計	255	190	74.5

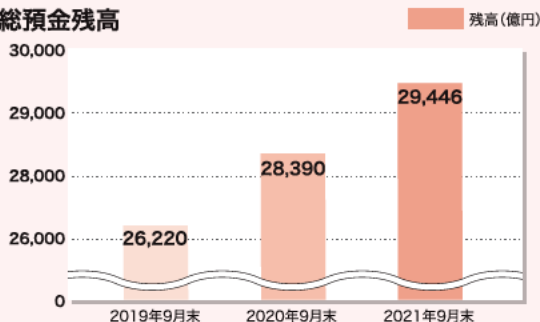
業績ハイライト

預金の状況

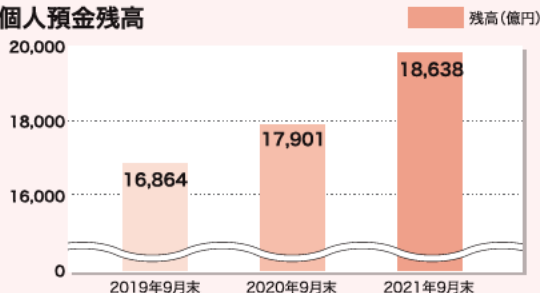
2021年9月末の預金は、個人預金を中心に順調に推移したことにより、譲渡性預金を含めた総預金残高は2兆9,446億円(前年同期比3.7%増)となりました。

また、2021年9月末の預かり資産残高は投資信託や個人年金保険等が増加したことから、2,519億円(前年同期比3.0%増)となりました。

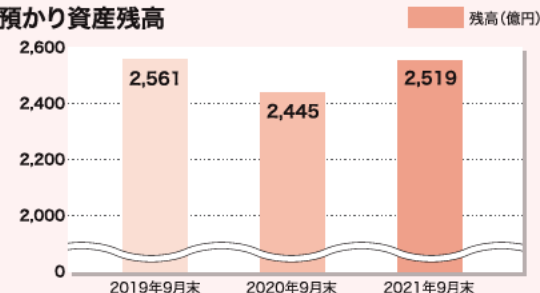
総預金残高



個人預金残高



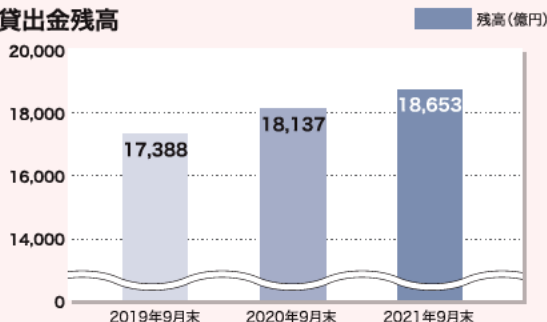
預かり資産残高



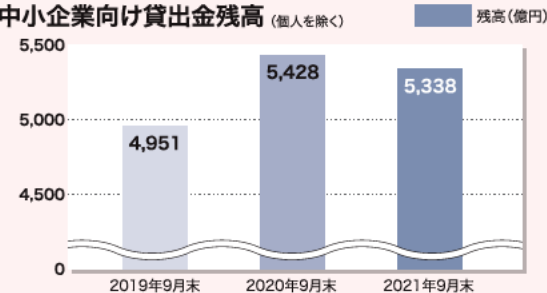
貸出金の状況

2021年9月末の貸出金は、県内一般法人向け貸出や住宅ローンを中心とした個人ローンの増加により、1兆8,653億円(前年同期比2.8%増)となりました。

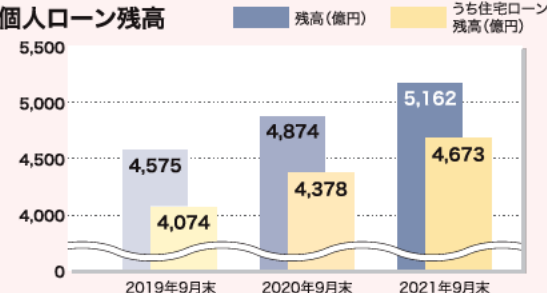
貸出金残高



中小企業向け貸出金残高 (個人を除く)



個人ローン残高



損益の状況

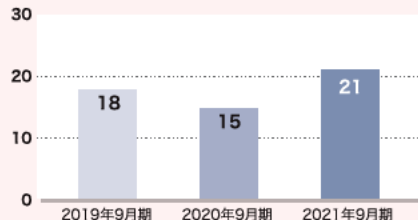
コア業務純益は、資金利益や役員取引等利益が増加し、経費も減少したことから、前年同期比6億円増益の21億円となりました。

経常利益は、有価証券関係損益が減少したものの、コア業務純益の増益により、前年同期比3億円増益の25億円となりました。また、中間純利益についても、前年同期比1億円増益の20億円となりました。

〈コア業務純益〉

銀行の本来業務から得られる利益を正確に表す指標です。

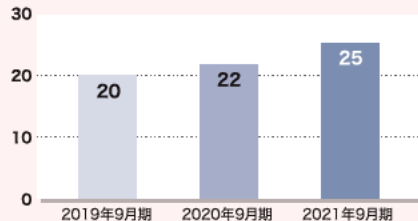
(億円)



〈経常利益〉

業務純益に株式等の損益や不良債権処理にかかる費用を加減した利益です。

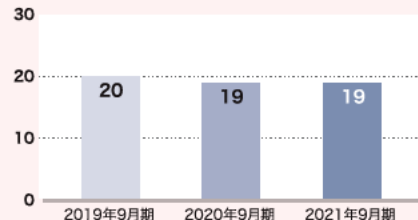
(億円)



〈業務純益〉

預金・貸出・為替業務など、銀行の本来業務から得られる収益力を示しています。

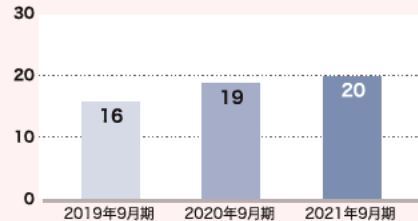
(億円)



〈当期純利益〉

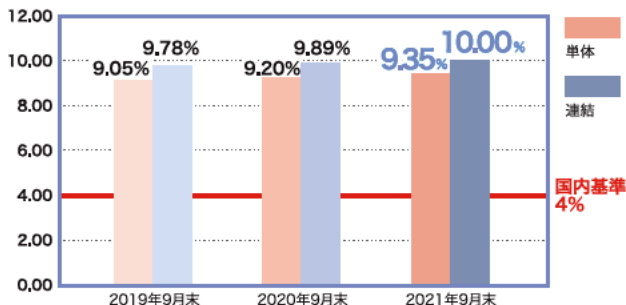
経常利益に特別損益や税金などを加減した最終的な利益です。

(億円)



自己資本比率

2021年9月末の単体自己資本比率は、利益の積み上げにより前期末比0.26%上昇し9.35%となりました。引き続き国内基準である4%を大きく上回っています。



※記載金額は表示している単位未満を切り捨てています。また、構成比率、増減率、その他の比率は、表示している数値未満を切り捨てています。

格付け

(2021年9月30日現在)

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA⁻格付け(長期発行体格付)を取得しており、安全性について高い評価を受けています。



単体財務諸表

第114期 中間貸借対照表 (2021年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	991,585	預 金	2,737,801
コールローン	10,000	譲 渡 性 預 金	206,841
買入金銭債権	2,328	コ ー ル マ ネ ー	12,311
金 銭 の 信 託	2,012	債券貸借取引受入担保金	155,261
有 価 証 券	861,165	借 用 金	532,200
貸 出 金	1,865,380	外 国 為 替	162
外 国 為 替	1,520	そ の 他 負 債	21,550
そ の 他 資 産	28,600	賞 与 引 当 金	510
有 形 固 定 資 産	20,431	役 員 賞 与 引 当 金	7
無 形 固 定 資 産	1,892	株 式 給 付 引 当 金	173
前 払 年 金 費 用	3,803	睡眠預金払戻損失引当金	323
支 払 承 諾 見 返	14,462	繰 延 税 金 負 債	1,762
貸 倒 引 当 金	△ 6,69	再評価に係る繰延税金負債	1,481
	5	支 払 承 諾	14,462
		負債の部合計	3,684,849
		(純資産の部)	
		資 本 金	19,562
		資 本 剰 余 金	12,916
		資 本 準 備 金	12,916
		利 益 剰 余 金	66,624
		利 益 準 備 金	6,646
		その他利益剰余金	59,978
		別 途 積 立 金	56,500
		繰越利益剰余金	3,478
		自 己 株 式	△ 784
		株 主 資 本 合 計	98,319
		その他有価証券評価差額金	13,107
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 2,173
		土 地 再 評 価 差 額 金	2,385
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	13,319
		純 資 産 の 部 合 計	111,638
資 産 の 部 合 計	3,796,488	負債及び純資産の部合計	3,796,488

貸借対照表とは

銀行の財産の状態を表したものであり、資金の運用・調達状況などを示しています。

- (資産の部) 主に資金の運用状況を表しており、その主役は貸出金です。
- (負債の部) 主に資金の調達状況を表しており、その主役は預金です。
- (純資産の部) 資本金や剰余金などを表しています。

第114期 中間損益計算書 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	16,120
資 金 運 用 収 益	11,427
(うち貸出金利息)	(8,053)
(うち有価証券利息配当金)	(3,222)
役 務 取 引 等 収 益	3,569
そ の 他 業 務 収 益	122
そ の 他 経 常 収 益	1,001
経 常 費 用	13,548
資 金 調 達 費 用	296
(うち預金利息)	(58)
役 務 取 引 等 費 用	1,659
そ の 他 業 務 費 用	237
営 業 経 費	10,831
そ の 他 経 常 費 用	524
経 常 利 益	2,572
特 別 利 益	3
特 別 損 失	58
税 引 前 中 間 純 利 益	2,517
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	607
法 人 税 等 調 整 額	△ 105
法 人 税 等 合 計	501
中 間 純 利 益	2,016

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

損益計算書とは 期中における銀行の経営成績を表しています。

- (経常収益) 一般企業の売上高に相当し、貸出金利息や各種手数料などの収益を表しています。
- (経常費用) 一般企業の売上原価に相当し、預金利息や営業経費などの費用を表しています。
- (経常利益) 経常収益から経常費用を引いたもので、毎期生じる(通常の)利益を表すものです。
- (中間純利益) 経常利益に、その期に特別に発生した利益、損失と税金を加減した最終的な利益です。

連結財務諸表

第114期 中間連結貸借対照表 (2021年9月30日現在)

(単位：百万円)			
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	991,690	預 金	2,734,757
コールローン及び買入手形	10,000	譲 渡 性 預 金	198,941
買入金銭債権	2,328	コールマネー及び売渡手形	12,311
金銭の信託	2,012	債券貸借取引受入担保金	155,261
有価証券	858,952	借 用 金	541,763
貸出金	1,850,428	外 国 為 替	162
外国為替	1,520	そ の 他 負 債	28,622
リース債権及びリース投資資産	16,151	賞 与 引 当 金	531
その他資産	43,522	役員賞与引当金	12
有形固定資産	21,157	退職給付に係る負債	111
無形固定資産	1,932	役員退職慰労引当金	9
退職給付に係る資産	4,847	株式給付引当金	173
繰延税金資産	398	睡眠預金払戻損失引当金	323
支払承諾見返	14,462	繰延税金負債	2,082
貸倒引当金	△ 8,002	再評価に係る繰延税金負債	1,481
		支 払 承 諾	14,462
		負債の部合計	3,691,005
		(純資産の部)	
		資 本 金	19,562
		資 本 剰 余 金	12,916
		利 益 剰 余 金	74,635
		自 己 株 式	△ 784
		株 主 資 本 合 計	106,330
		その他有価証券評価差額金	13,127
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 2,173
		土 地 再 評 価 差 額 金	2,385
		退職給付に係る調整累計額	726
		その他の包括利益累計額合計	14,065
		純 資 産 の 部 合 計	120,395
資産の部合計	3,811,401	負債及び純資産の部合計	3,811,401

第114期 中間連結損益計算書 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経 常 収 益	20,768
資金運用収益	10,854
(うち貸出金利息)	(8,032)
(うち有価証券利息配当金)	(2,670)
役員取引等収益	3,550
その他業務収益	122
その他経常収益	6,240
経 常 費 用	18,376
資金調達費用	311
(うち預金利息)	(58)
役員取引等費用	1,444
その他業務費用	237
営業経費	10,569
その他経常費用	5,813
経 常 利 益	2,391
特 別 利 益	3
特 別 損 失	58
税金等調整前中間純利益	2,337
法人税、住民税及び事業税	790
法人税等調整額	△ 109
法 人 税 等 合 計	681
中 間 純 利 益	1,655
親会社株主に帰属する中間純利益	1,655

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結財務諸表の作成方針

子会社、子法人等の定義は、銀行法第2条第8項及び銀行法施行令第4条の2に基づいています。

1 連結の範囲に関する事項

(1) 連結される子会社及び子法人等 5社

- 青銀甲田株式会社 ●あおぎんカードサービス株式会社 ●あおぎんリース株式会社
- あおぎん信用保証株式会社 ●あおり創生パートナーズ株式会社

(2) 非連結の子会社及び子法人等 該当ありません。

2 持分法の適用に関する事項

該当ありません。

3 連結される子会社及び子法人等の中間決算日等に関する事項

連結される子会社及び子法人等の中間決算日は次のとおりです。
9月末日 5社

株主優待制度

株主優待制度「あおぎん悠悠倶楽部」について

株主の皆さまへの感謝の気持ちをお伝えするために、株主優待制度「あおぎん悠悠倶楽部」を1997年7月に創設しました。毎年3月31日現在の所有株数に応じて青森県の特産品をプレゼントする制度で、ご好評をいただいています。

株主優待制度の対象者

毎年3月31日現在の株主の皆さまに、株主優待券を発行します。

〈株主優待券の発行基準〉

保有株式数	保有期間	優待内容
100株以上1,000株未満	1年以上継続*	株主優待券1枚
1,000株以上	1年以上継続*	株主優待券2枚

※1年以上継続保有とは、「当年3月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同一株主番号で前年3月末日および9月末日の株主名簿に記載、または記録されていること」とします。

株主優待品カタログ「あおぎん悠悠倶楽部」をお届けします

株主優待品は、6月下旬に発送いたします優待商品カタログ(約70品目)からお選びいただけます。カタログには、県内の特産品を取り入れ、地場産業の育成と地域振興に努めています。



株式の状況

(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	29,400千株
発行済株式の総数	20,512千株
株主数	19,805名

大株主

(2021年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,712千株	8.40%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	871	4.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	822	4.03
日本生命保険相互会社	477	2.34
明治安田生命保険相互会社	476	2.33
青森銀行職員持株会	372	1.82
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	349	1.71
田中建設株式会社	257	1.26
住友生命保険相互会社	246	1.20
株式会社三菱UFJ銀行	241	1.18

- 注 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
2. また、持株比率は持株数を発行済株式(自己株式を除く)の総数で除して算出しています。

株式のご案内

(2021年9月30日現在)

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年です。

定時株主総会

毎事業年度終了の翌日から3ヵ月以内に開催します。

基準日

定時株主総会については、毎年3月31日とします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告します。

配当金

期末配当金は、株主総会の決議によって、毎年3月31日の最終の株主名簿に登録された株主または登録株式質権者に対し、株主総会終了後お支払いします。

中間配当金は、取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に登録された株主または登録株式質権者に対し、お支払いします。

単元株式数

当行の単元株式数は100株です。

公告方法

電子公告とします。なお、電子公告は当行ホームページ(<https://www.a-bank.jp/>)に掲載します。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

●株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

●郵便物送付先および電話照会先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

株式取扱手数料

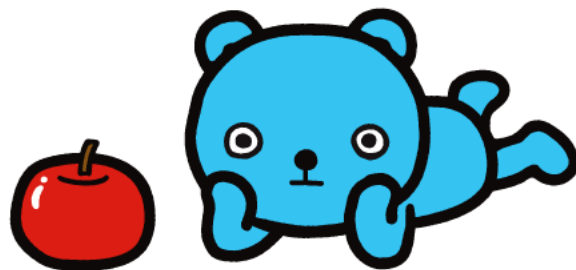
株式取扱規程に定める手数料を申し受けます。



「ふるさと青森を、なんとかしたい。」
その一心で、青森銀行は挑戦し続ける。
私たちが何かをするとき、必ずひとつの自問をする。

「いつか、喜んでもらえるかな。」
それが、地域とともに歩み続ける私たちの道標だから。

未来からの、ありがとうのために。



 青森銀行

発行 / 2021年12月 株式会社青森銀行 総合企画部 広報室
〒030-8668 青森市橋本一丁目9番30号 TEL 017-777-1111(代表)
URL <https://www.a-bank.jp/> メールアドレス kouhou@a-bank.co.jp
(この小冊子は、商品勧誘を目的とするものではありません。)

※森林認証を受けた「環境にやさしい」用紙を使用しています。